

全附連19-009

平成31年4月22日

国立大学附属学校園 保護者の皆様

全国国立大学附属学校連盟 理事長 藤原嘉文

全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 呉本啓郎

附属学校の働き方改革へのご協力をお願い

拝啓

春暖の候、平素は全附連の活動にご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

昨今の学校における教員の超過勤務の問題を受け、柴山文部科学大臣から学校の働き方改革に関するメッセージが出されました。保護者向けの内容は次ページに添付いたします。

併せて、藤原事務次官からは、働き方改革の取り組みの徹底に関する通知が出されました。さらに、柳澤教育人材政策課長から、附属学校を置く各国立大学法人学長宛に同様の通知が出されました。

地域のモデル校としての附属学校は、この状況を受けて、率先して働き方改革を実践し、地域の公立学校にモデルを示していく必要があります。

このためには、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。限られた教職員の勤務時間の中で、より効率的に業務が遂行できるよう、また、子どもたちへの適正な対応ができるようにしなければなりません。部活動を含めた様々な場面で変化が生じることが予想されますが、保護者一人一人が、ご理解とご配慮をもって教職員と接していただければと思います。

PTA活動でも、事業効果が低いわりに教職員の負担になっていることはないか、役員会などの資料づくりなどで教職員に負担をかけていないか、附属まつりのイベントや環境整備事業の準備を教職員に頼っていないか、など活動を見直していただきたくお願いいたします。PTA活動を単に縮小すればよいのではなく、より賢くスマート化し、働き方改革の時代に応じた、さらに成果が上がる活動にしていきたいと考えています。

働き方改革を推進し、学校の先生が子どもたちにとってますます魅力的な職業に見えることが、附属学校の存在価値をさらに高めていくことにも繋がりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

敬具